

[illegible]

位置図



施 工 条 件 書

配水管布設工事 第 7 号 (矢板市沢地内)

矢板市上下水道事務所

項 目	施 工 条 件 ・ 内 容 等	項 目	施 工 条 件 ・ 内 容 等
工 事 関 係	・ 占用位置、土被り等、計画に沿って十分注意し、凹凸配管にならぬよう管を布設し、転圧埋め戻し作業を行うこと。 ・ 制水弁筐等は、適切な位置及び高さに設置すること。 ・ 掘削については、道路使用許可（矢板警察署、矢板消防署）をとること。	仮 設 備 関 係	・ 仮設備の構造及び施工方法は、施工計画書に明示したうえで、監督員と協議すること。 ・ 工事表示等保安施設については、所定の位置に設置し、夜間においても遠方から確認できるようにすること。また、常に巡回を行い、安全確認を行うこと。特に交差点付近の工事となる場合は、万全を期すこと。 ・ 掘削深が深くなるところについては、適切に土留め等を設置すること。
工 程 関 係	・ 工事着手前に施工計画書を提出し、監督員と協議すること。 ・ 工事に何らかの支障があり、工程が遅れる場合、監督職員と協議すること。 ・ 近隣住民とよく協議し施工すること。	建設副産物 関 係	・ 建設副産物関係については下記のとおりとする。 1. 建設残土 (1) 処分方法： <u>指定処理 (B)</u> (2) 運搬距離： <u>8. 0</u> km
用 地 関 係	・ 測量杭、境界杭等（白杭、青杭）は、工事車両、建設機械等で動かさぬよう確実に養生すること。（施工上、支障となる場合は、控えをとること。） ・ 施工上、個人の土地に立ち入らなければならない場合は、土地所有者の許可を得ること。		※捨土処理報告書を作成し、監督員に提出するものとする。 ※日曜、祭日、夜間の捨土は原則禁止とする。
公 害 対 策 関 係	・ 作業中の騒音、振動については、できる限り配慮すること。 ・ 原則として日曜、祭日等の作業は避けること。 ・ 残土運搬時、路上に落ちた土砂等の清掃を行うこと。（特に搬入先の路上） ・ 当該工事により、付近の家屋、工作物等に被害を及ぼす恐れがあるところは、着工前に外観調査（写真等を含む）を行うこと。		2. 建設廃材 (1) A s ・ C o 塊 (2) 運搬距離： <u>3. 5</u> km
安 全 対 策 関 係	・ 施工の安全確保の徹底を図るため、作業員全員による定期的な教育、訓練等を実施すること。（労働災害防止） ・ 工事車両の出入り口及び建設機械の旋回には、誘導員を配置すること。 ・ 交通車両及び歩行者の安全対策には、特に留意し、必要に応じ交通誘導員の配置を行うこと。（第三者に対する安全対策） ・ 交通整理員を延べ20人見込んでいる。		※塊は30cm未満に破壊し、中間処理施設に搬入すること。 (1) A s 切削汚泥 (2) 運搬距離： <u>25. 0</u> km ※廃材処理報告書を作成し、監督員に提出するものとする。 ※建設廃棄物処理委託契約を処理業者と締結し、契約書の写しを建設副産物処理承認申請書に添付すること。 ※マニフェストE票の写しを竣工図書に添付すること。
安 全 訓 練	・ 工事期間中、安全・衛生に関する研修・訓練等を月1回（半日）以上実施すること。 ・ K Y 日報を作成し、竣工図書に添付すること。		・ 再生資源利用〔促進〕計画書の提出 - 工事を実施するにあたり、再生資源利用〔促進〕計画書を施工計画書に添付するものとし、計画書の実施状況については、再生資源利用〔促進〕実施書を作成して、工事完了後速やかに実施書及びC D - R を発注者に提出すること。 - なお、監督員の承諾を得て、施工計画書を省略する場合においても、再生資源利用〔促進〕実施書等については、提出するものとする。 - また、再生資源利用〔促進〕計画書（実施書）の作成にあたり、再生資源利用〔促進〕計画書（実施書）入力システムを利用するものとする。

施 工 条 件 書

配水管布設工事 第 7 号 (矢板市沢地内)

矢板市上下水道事務所

項 目	施 工 条 件 ・ 内 容 等	項 目	施 工 条 件 ・ 内 容 等
工事用道路 関 係	・住宅等に車が入り出すときは、速やかに通行を確保すること。 ・片側通行、全面通行止め等で施工する場合、所轄の警察署の許可及び矢板消防署、郵便局等の同意を得ること。 ・迂回路の場合、案内看板等を設置し、安全確保のため常に巡回すること。	排水口（濁 水処理含） 関 係	・地下水は、水路等への放流により適切に処理し、周辺を汚さないこと。 ・工事による廃油、廃材等については、絶対に河川等に流さないこと。
支障物件等	・地下埋設物や他の公共施設等との離隔は、30cm以上確保すること。 ・地下埋設物（上水道管、N T T ケーブル、電力ケーブル、防火水槽など）については、工事着工前に図面等により確認し、施工時には管理者の立会いを依頼すること。 ※上下水道事務所 下水道担当 0 2 8 7 - 4 3 - 6 2 1 4 ※N T T 栃木サービスセンター 0 1 2 0 - 2 0 4 - 4 6 2 ※東京電力カスタマーセンター 0 1 2 0 - 9 9 - 5 1 1 2 ※矢板警察署 0 2 8 7 - 4 4 - 0 1 1 0 ※矢板消防署 0 2 8 7 - 4 4 - 2 5 1 1	そ の 他	・本工事は、水道工事標準仕様書、土木工事共通仕様書、土木工事必携及び公共工事品質確保の手引きを準用すること。 ・特記仕様書を遵守すること。 ・ダクタイル鋳鉄管の施工要領に基づき施工すること。 ・給水装置工事については、矢板市の指定する給水装置工事事業者が施工することとし、これについて下請業者等により施工する場合は、施工前に発注者へ届けでること。 ・主任技術者は、2級土木施工管理技士又は同等以上の資格を有する者を充てることとする。 ・本施行箇所は、工事のため発注者の協議した道路占用許可条件に合わせて施工すること。 ・平成24年度より、工事竣工図書の一部（工事竣工図、管路弁栓調書・工事写真）を電子納品とするので、図書作成については、監督員と協議し、指示に従うこと。 ・工事着手時に起工測量を行い、設計図書と現場との照査を行い、監督員に報告すること。 ・道路復旧については、交通の支障とならないよう速やかに復旧すること。 ・水道資材の発注は必ず、監督員と協議したのち発注すること。 ・施工前に必ず、監督員と現地確認を行うこと。 ・本工事は、矢板土木事務所発注の道路改良工事に合わせて施工する工事であるため、適切に協議を行い実施すること。 ・施工時期については、道路改良工事にて路床置換及び道路側溝布設後に施工となることを見込んでいる。
過積載防止	・ダンプトラック過積載による違法運転の防止実施要領により、下記のことについて遵守すること。 (1) 積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積込ませないこと。 (2) さし柵装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積込ませない。 ※不表示者とは「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（「ダンプカー規正法」）第4条における表示義務違反車をいう。 (3) 過積載車両、さし柵装着車、不表示車等から土砂等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。 (4) 取引関係にあるダンプカー事業者が過積載を行う場合、または、さし柵装着車、不表示車等を土砂運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。 (5) 建設発生土の処理及び骨材の購入等に当たって、下請業者及び骨材納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。 (6) 以上のことにつき、下請け業者にも十分指導すること。		

特 記 仕 様 書

1. 本工事の主任技術者は、次に掲げる資格を有する者を当てなければならない。

(1) 建設業法（昭和24年法律第100号）による技術検定（以下「技術検定」という。）のうち検定種目を二級の建設機械施工管理又は、二級の土木施工管理とするものに合格した者、並びに建設大臣が前述の者と同等以上の能力を有するものと認定した者。

(2) 技術法（昭和32年法律第124号）による本試験のうち技術部門を建設部門、農業部門（選択科目「農業土木」とするものに限る。）とするものに合格した者。

なお、主任技術者等の通知書に合格証明書等有資格技術者であることを証するもの（写しでもよい）を添付すること。

特 記 仕 様 書

1. ダクティル鋳鉄管耐震継手管（GX形管）を含む工事の主任技術者（監理）又は現場代理人のいずれかの者に、配水管技能者を当てなければならない。

なお、配水管技能者とは下記 表－1 の資格を有する者とする。

表－1 対象工事と資格

配置対象工事	配水管技能者の資格	登録等の区分
500mm未満のダクティル鋳鉄管耐震継手管（GX形管）を含む工事	公益社団法人日本水道協会の配水管技能者登録	「耐震登録」又は「耐震継手」
	一般社団法人日本ダクティル鋳鉄管協会の継手接合研修会の受講証を有する者	「耐小」（耐震管φ450以下）

※配水管工技能講習会（公益社団法人日本水道協会主催）受講修了者に交付される登録証の有効期限は発行日から5年間。有効期限を迎える登録証は更新手続きが必要。

2. 水道配水用ポリエチレン管（HPP E）を含む工事の主任技術者（監理）又は現場代理人のいずれかの者に、配水管技能者を当てなければならない。

なお、配水管技能者とは下記 表－2 の資格を有する者とする。

表－2 対象工事と資格

配置対象工事	配水管技能者の資格	登録等の区分
水道配水用ポリエチレン管を含む工事	配水用ポリエチレンパイプシステム協会の配管施工講習会（配水管用）の受講修了者又は旧団体（「水道用ポリエチレンパイプシステム研究会」「配水用ポリエチレン管協会」）の施工講習会の受講修了者。また、これと同等のメーカー（積水化学工業(株)、(株)クボタシーアイ）が実施する講習会を受講し、受講証を取得した者	

矢板市水道工事水圧試験標準仕様書

この仕様書は、矢板市上下水道事務所水道課発注の水道工事における水圧試験について定めたものである。他の項目については、日本水道協会発行『水道工事標準仕様書』を準拠する。

- 1 受注者は配管終了後、継手の水密性を確認するため、管路の水圧試験を行わなければならない。
- 2 試験を行う場合は、監督員と事前に日時を協議し立会いのもと実施すること。
- 3 試験方法は管内充水方式とし、布設したダクタイル鋳鉄管、水道配水用ポリエチレン管及び水道用ポリエチレン二層管を 0.75Mpa で加圧し 1 時間後の水圧が 0.6Mpa 以上保持していれば合格とする。
- 4 管内への充水は一昼夜程度かけ、管内へ侵入した空気を十分に排気することが望ましいが、管径や配管形状、地理的な条件により変動するため、監督員と協議し決定すること。
- 5 試験値が合格値を下回った場合、管路や弁栓類を点検し充水作業後、再試験を行わなければならない。
- 6 試験器の取付け位置は、配管端部に取付けた管栓及び管栓帽又は消火栓とする。
- 7 試験器は自記録式又はデータログ式とする。自記録式ではチャート紙を使用し、データログ式ではチャート紙形式でデータを出力すること。なお、自記録式のチャート紙は 1 時間用又は 4 時間用を使用すること。
- 8 成果物はチャート紙と記録写真を提出することとし、記録写真のみは不可とする。
- 9 水道配水用ポリエチレン管の試験は EF 接合後 1 時間以上経過してから行うこと。
- 10 水道配水用ポリエチレン管の試験については、予備加圧（0.75Mpa で加圧し 10 分間放置）後に試験を行うことも可とする。
- 11 管径 900 mm 以上の鋳鉄管継手ではテストバンドを使用した水圧試験とし、試験方法は日本水道協会発行『水道工事標準仕様書【土木工事編】』に記載のとおりとする。

※試験器及び接続部材は受注者が用意すること。

※試験に使用する管栓や管栓帽は発注者が貸与するが、工事が重なり、受注者の求める日時に貸与できない場合がある。この時、受注者の都合で試験を実施する場合は、受注者の負担で部材を用意すること。

(別紙 5)

捨 土 処 理 報 告 書

令和 年 月 日

矢板市長 様

住 所
商号又は名称
代 表 者 氏 名

捨土処理について、次のように処理を行いましたので、関係書類を添えて報告いたします。

記

1. 工 事 名

2. 工 事 場 所

3. 処 分 場 所

4. 処分地所有者名
又は処理施設社名

5. 処 理 量

6. 付 属 書 類 写真（処理前後）、位置図

(別紙 6)

廃材処理報告書

令和 年 月 日

矢板市長 様

住 所
商号又は名称
代表者氏名

廃材処理について、次のように処理を行いましたので、関係書類を添えて報告いたします。

記

1. 工 事 名

2. 工 事 場 所

3. 処 分 場 所

4. 処分地所有者名
又は処理施設社名

5. 処 理 量

6. 付 属 書 類

写真（中間処理施設看板、廃材幅管理）、位置図
中間処理施設入荷証明

電子納品に関する特記仕様書

(建設工事)

(適用範囲)

第1条 本特記仕様書は、当該工事（以下「本工事」という。）の最終成果品を電子納品の対象とし、そのために必要な事項について定めるものである。

(電子納品)

第2条 電子納品とは、本工事の最終成果を電子データで納品することをいう。

ここでいう電子データとは、「電子納品運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。

なお、書面における署名又は押印の取扱いについては、別途監督職員と協議するものとする。

(成果品の提出)

第3条 成果品の提出の際には、国土交通省チェックシステム及びウィルス対策ソフトを利用してチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、電子媒体に格納することとする。提出物は、電子媒体（CD-R又はDVD-R）正副各1部、計2部とする。

なお、電子納品の対象外とした書類は、従来通り紙で納品する。

「ガイドライン」で特に記載のない項目については、原則として成果を電子化して提出する義務はないが、監督職員と協議の上、電子化を決定する。

また、紙による書類の提出は必要最小限とする。

(成果品の保管)

第4条 請負者は、発注者に提出する電子媒体に格納したデータを、バックアップとして請負者のハードディスク等に保管し、その保管年数は10年間を原則とする。

(成果品の確認)

第5条 請負者は、電子媒体（CD-R又はDVD-R）提出時において、電子データが「ガイドライン」に基づき作成されていることを、監督職員の立会いのもと確認する。

なお、電子データの検査方法については、別途協議のうえ決定する。

(その他)

第6条 請負者は、本工事の実施にあたり内容に疑義が生じた場合には、速やかに監督職員と協議し、その指示を受けなければならない。

事前協議チェックシート

(建設工事)

(様式 1)

[illegible]

様式2

電 子 媒 体 納 品 書

矢板市長

様

請負者（受注者）

住 所

氏 名

（担当者）

印
印

下記のとおり電子媒体を納品いたします。

記

工 事 名 (業務委託名)				契約番号		
工事場所 (委託場所)	矢板市 地内			TECRIS・CORINS 登録番号		
電子媒体の種類	規 格	単 位	数 量	作成年月日	備考	
		枚		令和 年 月 日		
【適用】						

【発注者側記載事項】

受領者及び保管場所

担 当 課	課 班・担当	職氏名	印
保 管 場 所			

工事設計書

工事名称		配水管布設工事 第7号	
工事費総額		¥-	
(内訳) 工事価格		¥	
消費税		¥-	
発注者名	矢板市上下水道事務所 水道課	共通仮設費補正： 一般交通等の影響あり② *1.2	
工 期	令和8年3月10迄	現場管理費補正(工事場所)： 一般交通等の影響あり② *1.1	
工事場所	矢板市沢地内	一般管理費補正(前払金支出割合)： 前払金支出割合35%を超え(補正しない) *1	
場所名称		一般管理費補正(契約保証)： 金銭的保証を必要 +0.04%	
工事概要		水道課	
		〒	
		TEL	
		FAX	
		メール	

総括情報表

事務所名 設計書区分/番号 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 設計書名	008 矢板 (09 栃木県) 2025-08-10		
	当世代		前世代
前払率 工事種類 工種区分 施工地域・工事場所区分 現場環境改善費補正 一般管理費補正(契約保証) 緊急工事区分による補正 豪雪補正	前払金支出割合35%を超え(補正しない) 水道工事(水道実務必携基準) 開削工事及び小口径推進工事等 一般交通等の影響あり② 金銭的保証を必要 補正なし		

本工事内訳書

頁0003

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配水管	1	式			
配水管布設工	1	式			
配水管布設工（材料費） HPPE φ 100	1	式			
ホ リエチレン管 (PEP) EF片受直管 φ 100×5m	25	本			管：
EF片受曲管 45° φ 100	8	個			管：
EF両受曲管 45° φ 100	4	個			管：
EFソケット φ 100	1	個			管：
PE管用管栓帽 内面粉体 φ 100	1	個			管：
水道配水用ポリエチレン管用 マニカル継手 呼び径100	1	個			管：

本工事内訳書

頁0004

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
埋設標示シート 幅150mm タブ型	128.3	m			
管明示テープ 幅30mm 長さ20m/個 年号入	60.5	m			
ロケティンクワイヤー	128.3	m			
配水管布設工（労務費） HPPE φ 100	1	式			
ホリエチレン管(融着接合(EF接合))据付工 呼び径100mm	128.3	m			代価第1号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第6節-86頁
ホリエチレン管(融着接合(EF接合))継手工 呼び径100mm 2口継手	1	箇所			代価第2号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第6節-86頁
ホリエチレン管(融着接合(EF接合))継手工 呼び径100mm 1口継手	41	箇所			代価第3号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第6節-86頁
ホリエチレン管(メカニカル継手)継手工 呼び径100mm	3	口			代価第4号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第6節-86頁
ホリエチレン管切断工 呼び径100mm	11	口			代価第5号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第8節-97頁

本工事内訳書

頁0005

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
管明示テープ工(手間のみ) 100mm 天端明示無	60.5	m			代価第6号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第6節-87頁
管明示シート工(手間のみ)	128.3	m			代価第7号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第3節-66頁
ロケティンクワイヤ工(手間のみ)	128.3	m			代価第8号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第6節-87頁
通水試験工 試験距離：128.3m	128.3	m			代価第9号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第5章-第1節-129頁
土工	1	式			
土工（県道車道部）	1	式			
バックホウ掘削積込工 バックホウ 山積0.28m3[平積0.2m3]	70	m3			代価第10号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-161頁
発生土運搬工 ダンプトラック2t積 バックホウ山積0.28m3[平積0.20m3] DID区間なし 8.0km以下 タイヤ良好	36	m3			代価第11号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-175頁
管路埋戻・締固め工(機械埋戻・バックホウ) バックホウ 山積0.28m3[平積0.2m3] 砂 埋戻し用 ロス率：0.26	30	m3			代価第12号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-164頁

本工事内訳書

頁0006

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
管路埋戻・締固め工(機械埋戻・バックホ)					代価第13号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-164頁
バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3] 発生土	6	m3			
路盤工(施工幅1.8m未満)					代価第14号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-170頁
3層仕上げ 仕上り厚40cm 再生クラッシャーラン RC-100	75	m2			
路盤工(施工幅1.8m未満)					代価第15号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-170頁
2層仕上げ 仕上り厚20cm 再生クラッシャーラン RC-100	7	m2			
軽量鋼矢板たて込み・引抜き工(両側分)(機械施工)					代価第16号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第2節-47頁
掘削深2.0m以下 たて込み バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3] 引抜きバックホ 山積0.28m3[平積0.2m3]	5.2	m			
軽量鋼矢板たて込み・引抜き工(両側分)(機械施工)					代価第17号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第2節-47頁
掘削深2.5m以下 たて込み バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3] 引抜きバックホ 山積0.28m3[平積0.2m3]	6.3	m			
軽量金属製支保材設置・撤去					代価第18号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第2章-第2節-50頁
ねじ式パイポット 2段(3.5m以下)	11.5	m			
軽量鋼矢板賃料					代価第19号 【水道事業実務必携(R6)】
5日 補助工法：無 2回使用	2.2	t			
支保材賃料					代価第20号 【水道事業実務必携(R6)】
1段 持込み長8m 5日供用	1	式			
土工(県道歩道部)					
	1	式			

本工事内訳書

頁0007

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版切断 アスファルト舗装版, 15cm以下, -, -	6.6	m			施工第1号
舗装版直接掘削積込工(バックホ) 舗装厚0cm超え10cm以下 バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3]	5	m2			代価第21号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-167頁
バックホ掘削積込工 バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3]	1	m3			代価第10号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-161頁
発生土運搬工 ダンプトラック2t積 バックホ山積0.28m3[平積0.20m3] DID区間なし 8.0km以下 タイヤ良好	1	m3			代価第11号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-175頁
アスファルト塊・コンクリート塊(無筋)運搬工 ダンプトラック2t積 バックホ山積0.28m3[平積0.20m3] DID区間なし 3.5km以下 タイヤ良好	0.2	m3			代価第22号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-179頁
アスファルト廃材処理費	0.2	m3			処:
管路埋戻・締固め工(機械埋戻・バックホ) バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3] 砂 埋戻し用 ロス率: 0.26	1	m3			代価第12号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-164頁
管路埋戻・締固め工(機械埋戻・バックホ) バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3] 発生土	0.3	m3			代価第13号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-164頁
路盤工(施工幅1.8m未満) 2層仕上げ 仕上り厚25cm 再生クラッシャーレン RC-40	1	m2			代価第23号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-170頁

本工事内訳書

頁0008

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装工(人力施工) 歩道 仕上り厚3cm プライムコート 砂散布なし アスファルト混合物(エコ スラグ入り再生密粒度アスコン(13))	5	m2			代価第24号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節- 179頁
不陸整正工(施工幅1.8m未満) 補足材なし	4	m2			代価第25号 【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節- 173頁
舗装版切断汚泥運搬費 2tトラック車片道25kmまで	0.01	m3			
舗装版切断汚泥処分費 汚泥比重 1.20～1.10	0.01	m3			処:
仮設工	1	式			
交通整理員	1	式			
交通誘導警備員B		人			配置人数20人
【 直接工事費計 】					
共通仮設費率額	1	式			

本工事内訳書

頁0009

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費積上額	1	式			
運搬費	1	式			内訳第1号
【 共通仮設費計 】					
【 純工事費 】					
現場管理費率額	1	式			
【 現場管理費計 】					
【 工事原価 】					
一般管理費率額	1	式			
【 一般管理費計 】					

本工事内訳書

頁0010

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【 工事価格 】					
【 消費税等相当額 】					
【 工事費計 】					

施工内訳表

式

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設材の運搬 製品長：12m以内 距離：5.1km 冬期割増なし 深夜早朝割増なし 往復	2.7	t			代価第26号 【水道事業実務必携(R6)】第一編-第1章-第2節-14頁
【 合計 】	1	式			

ポリエチレン管(融着接合(EF接合))据付工
呼び径100mm

施工代価表

代価第1号 頁0012

【水道事業実務必携(R6)】 第一編-第2章-第6節-86頁 10 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
【 合計 】	10	m			
【 単位当り 】	1	m			

ポリエチレン管(融着接合(EF接合))継手工
呼び径100mm 2口継手

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】 第一編-第2章-第6節-86頁 1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の8.5%を上限とする
【 合 計 】	1	箇所			
【 単位当り 】	1	箇所			

ポリエチレン管(融着接合(EF接合))継手工
呼び径100mm 1口継手

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】 第一編-第2章-第6節-86頁 1 箇所 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の8.5%を上限とする
【 合計 】	1	箇所			
【 単位当り 】	1	箇所			

ポリエチレン管(メカニカル継手)継手工
呼び径100mm

施工代価表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の1%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

ポリエチレン管切断工
呼び径100mm

施工代価表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工					
割増単価非公表の為割増無し		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			労務費の7%を上限とする
【 合計 】	1	口			
【 単位当り 】	1	口			

管明示テープ 工(手間のみ)
100mm 天端明示無

施工代価表

代価第6号 頁0017

【水道事業実務必携(R6)】 第一編-第2章-第6節-87頁 100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
【 合計 】	100	m			
【 単位当り 】	1	m			

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】 第一編-第2章-第3節-66頁

100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
【 合計 】	100	m			
【 単位当り 】	1	m			

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】 第一編-第2章-第6節-87頁 100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
【 合計 】	100	m			
【 単位当り 】	1	m			

通水試験工
試験距離：128.3m

施工代価表

代価第9号 頁0020

【水道事業実務必携(R6)】第一編-第5章-第1節-129頁 128.3 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
通水試験工 給水車：不要		日			
【 合計 】	128.3	m			
【 単位当り 】	1	m			

バックホ掘削積込工
バックホ 山積0.28m3〔平積0.2m3〕

施工代価表

【水道事業実務必携 (R6)】 第二編-第1章-第1節-161頁 100 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
バックホ運転 山積0.28m3〔平積0.2m3〕		h			
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m3			
【 単位当り 】	1	m3			

発生土運搬工
ダンプトラック2t積 バックホウ山積0.28m3[平積0.20m3] DID区間なし 8.0km以
下 タイヤ良好

施工代価表

代価第11号 頁0022

【水道事業実務必携(R6)】 第二編-第1章-第1節-175頁 10 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック運転		日			
【 合計 】	10	m3			
【 単位当り 】	1	m3			

管路埋戻・締固め工(機械埋戻・バックホ)
バックホ 山積0.28m3〔平積0.2m3〕 砂 埋戻し用 ロス率：0.26

施工代価表

代価第12号 頁0023

【水道事業実務必携(R6)】 第二編-第1章-第1節-164頁 100 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			埋め戻し
普通作業員		人			埋め戻し
普通作業員		人			クハ 締固め
バックホ運転 山積0.28m3〔平積0.2m3〕		h			投入
クハ 運転		日			クハ 締固め
砂 埋戻し用 【建築用】	126	m3			ロス率0.26
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m3			
【 単位当り 】	1	m3			

管路埋戻・締めめ工(機械埋戻・バックホ)
バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3] 発生土

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】 第二編-第1章-第1節-164頁 100 m3 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			埋め戻し
普通作業員		人			埋め戻し
普通作業員		人			クハ 締めめ
バックホ運転 山積0.28m3[平積0.2m3]		h			投入
クハ 運転		日			クハ 締めめ
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m3			
【 単位当り 】	1	m3			

路盤工(施工幅1.8m未満)
3層仕上げ 仕上り厚40cm 再生クランチャー RC-100

施工代価表

代価第14号 頁0025

【水道事業実務必携(R6)】 第二編-第1章-第1節-170頁 100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
再生クランチャー RC-100	50.8	m3			100*(40/100)*(1+0.27)
クランパ 運転		日			
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m2			
【 単位当り 】	1	m2			

路盤工(施工幅1.8m未満)
2層仕上げ 仕上り厚20cm 再生クラッシャーラン RC-100

施工代価表

代価第15号 頁0026

【水道事業実務必携(R6)】 第二編-第1章-第1節-170頁 100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
再生クラッシャーラン RC-100	25.4	m3			100*(20/100)*(1+0.27)
クンパ 運転		日			
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m2			
【 単位当り 】	1	m2			

軽量鋼矢板たて込み・引抜き工(両側分)(機械施工)
掘削深2.0m以下 たて込み バックホウ 山積0.28m3[平積0.2m3] 引抜きバ
ックホウ 山積0.28m3[平積0.2m3]

施工代価表

代価第16号 頁0027

【水道事業実務必携(R6)】 第一編-第2章-第2節-47頁 100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホウ運転 山積0.28m3[平積0.2m3]		h			たて込み
バックホウ運転 バックホウ 山積0.28m3[平積0.2m3]		h			引抜き
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m			
【 単位当り 】	1	m			

軽量鋼矢板たて込み・引抜き工(両側分)(機械施工)
掘削深2.5m以下 たて込み バックホウ 山積0.28m3[平積0.2m3] 引抜きバ
ックホウ 山積0.28m3[平積0.2m3]

施工代価表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
バックホウ運転 山積0.28m3[平積0.2m3]		h			たて込み
バックホウ運転 バックホウ 山積0.28m3[平積0.2m3]		h			引抜き
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m			
【 単位当り 】	1	m			

軽量金属製支保材設置・撤去
ねじ式パイプサート 2段(3.5m以下)

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】 第一編-第2章-第2節-50頁 100 m 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m			
【 単位当り 】	1	m			

軽量鋼矢板賃料
5日 補助工法：無 2回使用

施工代価表

代価第19号 頁0030

【水道事業実務必携(R6)】 1 t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽量鋼矢板賃料	1	t			
修理費	1.5	t			5750*2.75
【 合計 】	1	t			
【 単位当り 】	1	t			

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】 1 式 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
水圧ホース(賃) 調整長450～650mm程	20	本・日			
水圧ホース(賃)基本料 調整長450～650mm程	4	本			
アルミ腹起こし(賃) 70×115×4000mm程	20	本・日			
アルミ腹起こし(賃)基本料 70×115×4000mm程	4	本			
水圧ホース(賃) 手動ポンプ 水量15～19L	5	台・日			
水圧ホース(賃)基本料 手動ポンプ 水量15～19L	1	台			
【 合計 】	1	式			
【 単位当り 】	1	式			

舗装版直接掘削積込工 (バックホ)
舗装厚0cm超え10cm以下 バックホ 山積0.28m3[平積0.2m3]

施工代価表

代価第21号 頁0032

【水道事業実務必携 (R6)】 第二編-第1章-第1節-167頁 100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
バックホ運転 山積0.28m3[平積0.2m3]		h			
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m2			
【 単位当り 】	1	m2			

アスファルト塊・コンクリート塊(無筋)運搬工
ダンプトラック2t積 バックホウ山積0.28m3[平積0.20m3] DID区間なし 3.5km以
下 タイヤ良好

施工代価表

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック運転		日			
【 合計 】	10	m3			
【 単位当り 】	1	m3			

路盤工(施工幅1.8m未満)
2層仕上げ 仕上り厚25cm 再生クラッシャーラン RC-40

施工代価表

代価第23号 頁0034

【水道事業実務必携(R6)】 第二編-第1章-第1節-170頁 100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
再生クラッシャーラン RC-40	31.75	m3			100*(25/100)*(1+0.27)
クンパ 運転		日			
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m2			
【 単位当り 】	1	m2			

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
アスファルト混合物 エコスラグ入り再生密粒度アスコン(13)	7.26	t			100*(3/100)*2.2*(1+0.1)
アスファルト乳剤 PK-3 フォライムコート用	126	L			
振動ローラ運転		日			
振動コンパクタ運転		日			
諸雑費	1	式			(労+機)の19%を上限とする
【 合計 】	100	m2			

舗装工(人力施工)
歩道 仕上り厚3cm フライムコート 砂散布なし アスファルト混合物(エコスラグ[®]入り再生密粒度アスコン(13))

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-179頁 100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【 単位当り 】	1	m2			

不陸整正工(施工幅1.8m未満)
補足材なし

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】第二編-第1章-第1節-173頁 100 m2 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
クパ 運転		日			
諸雑費	1	式			端数処理
【 合計 】	100	m2			
【 単位当り 】	1	m2			

仮設材の運搬
製品長：12m以内 距離：5.1km 冬期割増なし 深夜早朝割増なし 往復

施工代価表

【水道事業実務必携(R6)】 第一編-第1章-第2節-14頁 1 t 当り

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
基本運賃	2	t			
【 合計 】	1	t			
【 単位当り 】	1	t			

舗装版切断
アスファルト舗装版, 15cm以下, -, -

施工パッケージ

積算単位：m

区分	代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	補正式	備 考
K 東京	機械	6.05			
K1 東京	コンクリートカッタ〔ハキューム式・湿式〕 切削深20cm級プレート 径φ56cm	4.09			令和6年度版建設機械等損料表11-9
R 東京	労務	55.5			
R1 東京	特殊作業員	19.28			
R2 東京	土木一般世話役	9.9			
R3 東京	普通作業員	8.33			
Z 東京	材料	38.45			
Z1 東京	プレート（コンクリートカッタ） 径22インチ	35.21			
Z2 東京	ガソリン レギュラー スタンド	2.19			

舗装版切断
アスファルト舗装版, 15cm以下, -, -

施工パッケージ

積算単位：m

区分	代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	補正式	備 考
	*** 単位当り ***				
	積算単価（地区：008 矢板（09 栃木県）／2025-08-10）				
	標準単価				

単価調書

頁0041

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
【労務費】					
交通誘導警備員B		人			
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
特殊作業員		人			
運転手(一般)		人			
運転手(特殊)		人			
配管工		人			
割増単価非公表の為割増無し					
【損料・賃料】					

単価調書

頁0042

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリートカッタ[ハキューム式・湿式] 切削深20cm級ﾌﾟﾚｰﾄﾞ径 φ 56cm		供用日			令和6年度版建設機械等損料表11-9
ﾀﾝﾊﾟ 賃料 質量60～80kg		日			
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ[オンロード・ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ] 2t積級		供用日			令和6年度版建設機械等損料表03-1
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸﾀｲﾔ損耗費 良好 2～3t積		供用日			
ﾊﾞｯｸﾎﾞ(ｸﾛｰﾗ型)[標準型・排対型(2次基準)] 標準ﾊﾞｯｹｯﾄ容量(山積0.28/平積0.2m3)		h			令和6年度版建設機械等損料表02-9
振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ[前進型] 機械質量40～60kg		供用日			令和6年度版建設機械等損料表08-7
振動ﾛｰﾗ(舗装用)[ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式] 運転質量0.5～0.6t		供用日			令和6年度版建設機械等損料表08-3
【材料費】					
ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤 PK-3ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ用	6.3	L			

単価調書

頁0043

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アスファルト混合物 エコスタック入り再生密粒度アスコン(13)	0.363	t			
アルミ腹起こし(賃) 70×115×4000mm程	20	本・日			
アルミ腹起こし(賃)基本料 70×115×4000mm程	4	本			
ガソリン レギュラー スタント	10.662	L			
プレート(コンクリートカッター) 径22インチ	0.017	枚			
ローディングワイヤー	128.3	m			
修理費	3.3	t			
再生クラッシャーラン RC-100	39.878	m3			
再生クラッシャーラン RC-40	0.318	m3			

単価調書

頁0044

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
埋設標示シート 幅150mm タブル	128.3	m			
基本運賃	5.4	t			
水圧ポンプ(賃) 手動ポンプ 水量15～19L	5	台・日			
水圧ポンプ(賃) 調整長450～650mm程	20	本・日			
水圧ポンプ(賃)基本料 手動ポンプ 水量15～19L	1	台			
水圧ポンプ(賃)基本料 調整長450～650mm程	4	本			
砂 埋戻し用 【建築用】	39.06	m3			
管明示テープ 幅30mm 長さ20m/個 年号入	60.5	m			
軽油 1.2号 バトル給油	178.242	L			

水道課

単価調書

頁0045

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
軽量鋼矢板賃料	2.2	t			
【市場単価他】					
舗装版切断汚泥運搬費 2tトラック車片道25kmまで	0.01	m3			
【処分費】					
アスファルト廃材処理費	0.2	m3			処:
舗装版切断汚泥処分費 汚泥比重 1.20～1.10	0.01	m3			処:
【管材費】					
EFソケット φ 100	1	個			管:
EF両受曲管 45° φ 100	4	個			管:

単価調書

頁0046

名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
EF片受曲管 45° φ 100	8	個			管:
PE管用管栓帽 内面粉体 φ 100	1	個			管:
ポリエチレン管 (PEP) EF片受直管 φ 100×5m	25	本			管:
水道配水用ポリエチレン管用 カニカル継手 呼び径100	1	個			管:

公 表 單 價 一 覽 表

配水管布設工事 第7号

[illegible]

- 1 本表に記載されている単価は、見積り及び特別調査により決定したものである。
2 適用区分に○印があるものは、下記の価格を示す。
「機」: 機械器具等の損料または賃料
「労」: 労務費
「材」: 材料費

配管材料集計表

名 称	形状・寸法	単位	数 量	単位長	延 長	備 考
1. HPPE管布設工φ100mm						
片 受 直 管	φ 100 × 5.00	本	Σ = 25 20	5.00	100.00	
片 受 切 管	φ 100	本 m	5 22.86	1.00	22.86	
EF チ ー ズ	φ 100 × 100	個				
E F 片 受 曲 管	φ 100 × 45°	個	8	0.49	3.92	
E F 片 受 曲 管	φ 100 × 22 1/2°	個				
E F 片 受 曲 管	φ 100 × 11 1/4°	個				
E F 両 受 曲 管	φ 100 × 45°	個	4	0.38	1.52	
E F 両 受 曲 管	φ 100 × 22 1/2°	個				
E F 両 受 曲 管	φ 100 × 11 1/4°	個				
E F ソ ケ ッ ト	φ 100	個	1			
PE 挿し口付 鋳鉄製 T 字 管	φ 100 × 75	個				
鋳鉄管用異種管継手	φ 100 × 100	個				
管 栓 帽	HPPE用 φ 100	個	1			
HPPE 用 メ カ ニ カ ル 継 手	φ 100	個	1	0.01	0.01	
K 形 継 輪	φ 100	個				
特 殊 押 輪	φ 100	個				
挿口付ソフトシール仕切弁	φ 100	基				
ロケータインク`ワイヤー		m	128.3			
埋 設 シ ー ト		m	128.3			
明 示 テ ー プ		m	ΣL / 60.5	5×4×0.125×π×1.5		
総 延 長(ΣL)					128.31	
布 設 延 長(L)					128.31 - 0 - 0	

労 務 費 集 計 表

[illegible]

土工数量計算書(車道部)

集 計 表

項 目	単位	計上数値	合 計	①	②	③	④	⑤	備 考
A 舗装版切断工	m								As t=15cm以下
B 舗装版切断工	m								As t=15cm～30cm以下
C 舗装版直接 舗装版破碎工	m2								As t=10cm以下
D 掘削積込工	m2								As t=10cmを超えて15cm以下
E 舗装版直接 掘削積込工	m2								As t=15cmを超えて40cm以下
F 機 械 掘 削	m2	70	69.54	56.40	4.76	8.39			土砂
G 残 土 処 理 工	m3	36	36.00	25.94	3.36	6.70			土砂
H 廃 材 処 理 工	m3								As
I 山 砂 埋 戻 工	m3	30	29.81	27.07	1.24	1.50			山砂
J 発 生 土 埋 戻 工	m3	6	6.06		1.55	4.51			良質発生土
K 路 盤 工	m2	75	74.53	67.67	3.10	3.76			置換層(有効層) RC-100 t=40cm
L 路 盤 工	m2	7	6.86		3.10	3.76			置換層(無効層) RC-100 t=20cm
M 路 盤 工	m2								
N 路 盤 工	m2								
O 路 盤 工	m2								
P 路 盤 工	m2								
Q 路 盤 工	m2								
R 表 層 工	m2								
S 表 層 工	m2								
T 表 層 工	m2								
U 表 層 工	m2								
V 不 陸 正 整 工	m2								
W 軽 量 鋼 矢 板 建込・引抜工	m	5.2	5.17		5.17				軽量鋼矢板 H=2.0m 支保工 1段
X 軽 量 鋼 矢 板 建込・引抜工	m	6.3	6.26			6.26			軽量鋼矢板 H=2.5m 支保工 2段
Y 軽 量 鋼 矢 板 建込・引抜工	m								軽量鋼矢板 H=3.0m 支保工 2段
Z 汚 泥 処 理 量	m3								

HPPEφ100						
① 県道車道部 路床置換層仕上から埋設深0.60m L= 112.79 m DP= 0.60 m						
項 目	単位	距 離	基本数値	面積・体積	計上数値	備 考
A 舗装版切断工	m					As t=15cm以下
B 舗装版切断工	m					As t=15cm～30cm以下
C 舗装版直接掘削積込工	m2					As t=10cm以下
D 舗装版直接掘削積込工	m2					As t=10cmを超えて15cm以下
E 舗装版直接掘削積込工	m2					As t=15cmを超えて40cm以下
F 機械掘削	m3	112.79	0.495	56.40		土砂
G 残土処理工	m3	112.79	0.225	25.94		土砂
H 廃材処理工	m3					As
I 山砂埋戻工	m3	112.79	0.243	27.07		山砂
J 発生土埋戻工	m3					良質発生土
K 路 盤 工	m2	112.79	0.600	67.67		置換層(有効層) RC-100 t=40cm
L 路 盤 工	m2					置換層(無効層) RC-100 t=20cm
M 路 盤 工	m2					
N 路 盤 工	m2					
O 路 盤 工	m2					
P 路 盤 工	m2					
Q 路 盤 工	m2					
R 表 層 工	m2					
S 表 層 工	m2					
T 表 層 工	m2					
U 表 層 工	m2					
V 不陸正整工	m2					
W 軽量鋼矢板 建込・引抜工	m					軽量鋼矢板 H=2.0m 支保工 1段
X 軽量鋼矢板 建込・引抜工	m					軽量鋼矢板 H=2.5m 支保工 2段
Y 軽量鋼矢板 建込・引抜工	m					軽量鋼矢板 H=3.0m 支保工 2段
Z 汚泥処理量	m3					
0.6 他工事施工 0.400 0.050 0.150 0.200 0.400 0.825 0.425 表層 上層路盤 下層路盤 置換工(有) RC-100 山砂 ○ 表層仕上から DP 1.00 置換仕上から DP 0.60 山砂 管上 0.20 管下 0.10 管口径 0.125 機械掘削 残土処理 山砂埋戻し 発生土埋戻し 路盤工(置換) 路盤工(置換) 管断面積 0.600 × 0.825 0.495 - 0.243 × 1.110 0.600 × 0.425 - 0.012 0.600 × 0.400 $0.125^2 \times \pi \div 4$ = 0.000 = 0.495 = 0.225 = 0.243 = 0.000 = 0.240 = 0.000 = 0.012						

HPPEφ100						
② 県道車道部 路床置換層仕上面から埋設深1.30m L= 5.17 m DP= 1.30 m						
項 目	単位	距 離	基本数値	面積・体積	計上数値	備 考
A 舗装版切断工	m					As t=15cm以下
B 舗装版切断工	m					As t=15cm～30cm以下
C 舗装版直接掘削積込工	m2					As t=10cm以下
D 舗装版直接掘削積込工	m2					As t=10cmを超えて15cm以下
E 舗装版直接掘削積込工	m2					As t=15cmを超えて40cm以下
F 機械掘削	m3	5.17	0.915	4.76		土砂
G 残土処理工	m3	5.17	0.645	3.36		土砂
H 廃材処理工	m3					As
I 山砂埋戻工	m3	5.17	0.243	1.24		山砂
J 発生土埋戻工	m3	5.17	0.300	1.55		良質発生土
K 路盤工	m2	5.17	0.600	3.10		置換層(有効層) RC-100 t=40cm
L 路盤工	m2	5.17	0.600	3.10		置換層(無効層) RC-100 t=20cm
M 路盤工	m2					
N 路盤工	m2					
O 路盤工	m2					
P 路盤工	m2					
Q 路盤工	m2					
R 表層工	m2					
S 表層工	m2					
T 表層工	m2					
U 表層工	m2					
V 不陸正整工	m2					
W 軽量鋼矢板 建込・引抜工	m	5.17	1.000	5.17		軽量鋼矢板 H=2.0m 支保工 1段
X 軽量鋼矢板 建込・引抜工	m					軽量鋼矢板 H=2.5m 支保工 2段
Y 軽量鋼矢板 建込・引抜工	m					軽量鋼矢板 H=3.0m 支保工 2段
Z 汚泥処理量	m3					
0.6 他工事施工 0.400 0.050 0.150 0.200 1.525 0.400 0.200 0.500 0.425 表層 上層路盤 下層路盤 置換工(有) RC-100 置換工(無) RC-100 発生土 山砂 ○ 表層仕上面から DP 1.70 置換仕上面から DP 1.30 山砂 管上 0.20 管下 0.10 管口径 0.125 機械掘削 残土処理 山砂埋戻し 発生土埋戻し 路盤工(置換) 路盤工(置換) 管断面積 0.600 × 1.525 0.915 − 0.243 × 1.110 0.600 × 0.425 − 0.012 0.600 × 0.500 0.600 × 0.400 0.600 × 0.200 $0.125^2 \times \pi \div 4$ = 0.000 = 0.915 = 0.645 = 0.243 = 0.300 = 0.240 = 0.120 = 0.012						

HPPEφ100						
③ 県道車道部 路床置換層仕上面から埋設深2.00m L= 6.26 m DP= 2.00 m						
項 目	単位	距 離	基本数値	面積・体積	計上数値	備 考
A 舗装版切断工	m					As t=15cm以下
B 舗装版切断工	m					As t=15cm～30cm以下
C 舗装版直接掘削積込工	m2					As t=10cm以下
D 舗装版直接掘削積込工	m2					As t=10cmを超えて15cm以下
E 舗装版直接掘削積込工	m2					As t=15cmを超えて40cm以下
F 機械掘削	m3	6.26	1.335	8.39		土砂
G 残土処理工	m3	6.26	1.065	6.70		土砂
H 廃材処理工	m3					As
I 山砂埋戻工	m3	6.26	0.243	1.50		山砂
J 発生土埋戻工	m3	6.26	0.720	4.51		良質発生土
K 路 盤 工	m2	6.26	0.600	3.76		置換層(有効層) RC-100 t=40cm
L 路 盤 工	m2	6.26	0.600	3.76		置換層(無効層) RC-100 t=20cm
M 路 盤 工	m2					
N 路 盤 工	m2					
O 路 盤 工	m2					
P 路 盤 工	m2					
Q 路 盤 工	m2					
R 表 層 工	m2					
S 表 層 工	m2					
T 表 層 工	m2					
U 表 層 工	m2					
V 不陸正整工	m2					
W 軽量鋼矢板 建込・引抜工	m					軽量鋼矢板 H=2.0m 支保工 1段
X 軽量鋼矢板 建込・引抜工	m	6.26	1.000	6.26		軽量鋼矢板 H=2.5m 支保工 2段
Y 軽量鋼矢板 建込・引抜工	m					軽量鋼矢板 H=3.0m 支保工 2段
Z 汚泥処理量	m3					
0.6 他工事施工 0.400 0.050 0.150 0.200 2.225 0.400 0.200 1.200 0.425 表層 上層路盤 下層路盤 置換工(有) RC-100 置換工(無) RC-100 発生土 山砂 ○ 表層仕上面から DP 2.40 置換仕上面から DP 2.00 山砂 管上 0.20 管下 0.10 管口径 0.125 機械掘削 残土処理 山砂埋戻し 発生土埋戻し 路盤工(置換) 路盤工(置換) 管断面積 0.600 × 2.225 1.335 − 0.243 × 1.110 0.600 × 0.425 − 0.012 0.600 × 1.200 0.600 × 0.400 0.600 × 0.200 $0.125^2 \times \pi \div 4$ = 0.000 = 1.335 = 1.065 = 0.243 = 0.720 = 0.240 = 0.120 = 0.012						

土工数量計算書(歩道部)

集 計 表

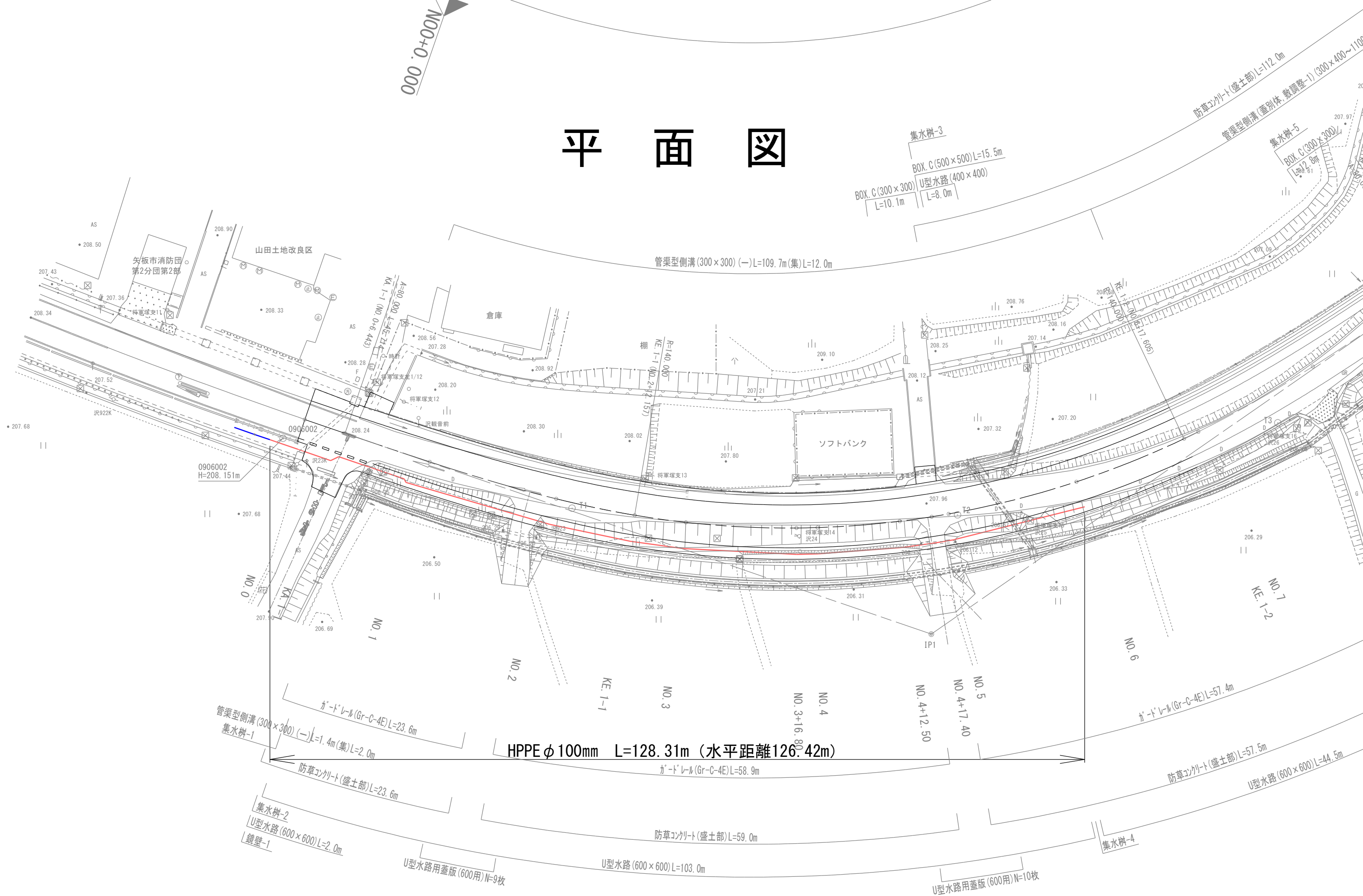
項 目	単位	計上数値	合 計	①	②	③	④	⑤	備 考
A 舗装版切断工	m	6.6	6.60	4.40	2.20				As t=15cm以下
B 舗装版切断工	m								As t=15cm～30cm以下
C 舗装版直接 舗装版破碎工	m2	5	5.17	1.32	3.85				As t=10cm以下
D 掘削積込工	m2								As t=10cmを超えて15cm以下
E 舗装版直接 掘削積込工	m2								As t=15cmを超えて40cm以下
F 機 械 掘 削	m3	1	1.19	1.19					土砂
G 残 土 処 理 工	m3	1	0.88	0.88					土砂
H 廃 材 処 理 工	m3	0.2	0.15	0.04	0.11				As
I 山 砂 埋 戻 工	m3	1	0.55	0.55					山砂
J 発 生 土 埋 戻 工	m3	0.3	0.29	0.29					良質発生土
K 路 盤 工	m2	1	1.32	1.32					歩道 RC-40 25cm
L 路 盤 工	m2								歩道 RC-40 27cm
M 路 盤 工	m2								車道 RC-40 30cm
N 路 盤 工	m2								車道 RC-40 35cm
O 路 盤 工	m2								車道 RC-40 37cm
P 路 盤 工	m2								車道 RC-40 45cm
Q 路 盤 工	m2								車道 RC-40 65cm
R 表 層 工	m2	5	5.17	1.32	3.85				表層 t=3cm
S 表 層 工	m2								表層 t=5cm
T 表 層 工	m2								基層 t=5cm
U 表 層 工	m2								安定処理 t=7cm
V 不 陸 正 整 工	m2	4	3.85		3.85				
W 軽 量 鋼 矢 板 建込・引抜工	m								軽量鋼矢板 H=2.0m 支保工 1段
X 軽 量 鋼 矢 板 建込・引抜工	m								軽量鋼矢板 H=2.5m 支保工 2段
Y 軽 量 鋼 矢 板 建込・引抜工	m								軽量鋼矢板 H=3.0m 支保工 2段
Z 汚 泥 処 理 量	m3	0.01	0.01	0.0031	0.0015				

HPPE φ100						
① 県道歩道 一般部 仮復旧（舗装切断ダブル）			L= 2.20 m		DP= 0.70 m	
項 目	単位	距 離	基本数値	面積・体積	計上数値	備 考
A 舗装版切断工	m	2.20	2.00	4.40		As t=15cm以下
B 舗装版切断工	m					As t=15cm～30cm以下
C 舗装版直接掘削積込工	m2	2.20	0.60	1.32		As t=10cm以下
D 舗装版直接掘削積込工	m2					As t=10cmを超えて15cm以下
E 舗装版直接掘削積込工	m2					As t=15cmを超えて40cm以下
F 機械掘削	m3	2.20	0.54	1.19		土砂
G 残土処理工	m3	2.20	0.40	0.88		土砂
H 廃材処理工	m3	2.20	0.02	0.04		As
I 山砂埋戻工	m3	2.20	0.25	0.55		山砂
J 発生土埋戻工	m3	2.20	0.13	0.29		良質発生土
K 路 盤 工	m2	2.20	0.60	1.32		歩道 RC-40 25cm
L 路 盤 工	m2					歩道 RC-40 27cm
M 路 盤 工	m2					車道 RC-40 30cm
N 路 盤 工	m2					車道 RC-40 35cm
O 路 盤 工	m2					車道 RC-40 37cm
P 路 盤 工	m2					車道 RC-40 45cm
Q 路 盤 工	m2					車道 RC-40 65cm
R 表 層 工	m2	2.20	0.60	1.32		表層 t=3cm
S 表 層 工	m2					表層 t=5cm
T 表 層 工	m2					基層 t=5cm
U 表 層 工	m2					安定処理 t=7cm
V 不陸正整工	m2					
W 軽量鋼矢板建込・引抜工	m					軽量鋼矢板 H=2.0m 支保工 1段
X 軽量鋼矢板建込・引抜工	m					軽量鋼矢板 H=2.5m 支保工 2段
Y 軽量鋼矢板建込・引抜工	m					軽量鋼矢板 H=3.0m 支保工 2段
Z 汚泥処理量	m3	4.40	0.0007	0.0031		
0.6 0.03 0.25 0.22 0.425 As 路盤工 良質発生土 山砂 ○ 現況As 0.03 DP 0.70 山砂 管上 0.20 管下 0.10 管口径 0.125 舗装版切断数 2.00 機械掘削 0.60 × 0.90 廃材処理工 0.60 × 0.03 山砂埋戻し 0.60 × 0.43 - 0.012 良質発生土 0.60 × 0.22 残土処理 0.54 - 0.13 × 1.11 汚泥処理 0.023 × 0.03 管断面積 0.125² × π / 4 = 2.00 = 0.54 = 0.02 = 0.25 = 0.13 = 0.40 = 0.0007 = 0.012						

HPPE φ100						
② 県道歩道 一般部 本復旧(舗装切断シングル) L= 2.20 m DP= 0.70 m						
項 目	単位	距 離	基本数値	面積・体積	計上数値	備 考
A 舗装版切断工	m	2.20	1.00	2.20		As t=15cm以下
B 舗装版切断工	m					As t=15cm～30cm以下
C 舗装版直接掘削積込工	m2	2.20	1.75	3.85		As t=10cm以下
D 舗装版直接掘削積込工	m2					As t=10cmを超えて15cm以下
E 舗装版直接掘削積込工	m2					As t=15cmを超えて40cm以下
F 機械掘削	m3					土砂
G 残土処理工	m3					土砂
H 廃材処理工	m3	2.20	0.05	0.11		As
I 山砂埋戻工	m3					山砂
J 発生土埋戻工	m3					良質発生土
K 路盤工	m2					歩道 RC-40 25cm
L 路盤工	m2					歩道 RC-40 27cm
M 路盤工	m2					車道 RC-40 30cm
N 路盤工	m2					車道 RC-40 35cm
O 路盤工	m2					車道 RC-40 37cm
P 路盤工	m2					車道 RC-40 45cm
Q 路盤工	m2					車道 RC-40 65cm
R 表層工	m2	2.20	1.75	3.85		表層 t=3cm
S 表層工	m2					表層 t=5cm
T 表層工	m2					基層 t=5cm
U 表層工	m2					安定処理 t=7cm
V 不陸正整工	m2	2.20	1.75	3.85		
W 軽量鋼矢板建込・引抜工	m					軽量鋼矢板 H=2.0m 支保工 1段
X 軽量鋼矢板建込・引抜工	m					軽量鋼矢板 H=2.5m 支保工 2段
Y 軽量鋼矢板建込・引抜工	m					軽量鋼矢板 H=3.0m 支保工 2段
Z 汚泥処理量	m3	2.20	0.0007	0.0015		

0.925	0.6	0.6	0.55	舗装版切断数	1.00	=	1.00
	0.03	As		機械掘削		=	
	0.25	路盤工	現況As 0.03 DP 0.70	廃材処理工	1.60 × 0.03	=	0.05
	0.22	良質発生土		山砂埋戻し		=	
		山砂	山砂 管上 0.20 管下 0.10	良質発生土		=	
	0.425	○	管口径 0.125	残土処理		=	
				汚泥処理	0.023 × 0.03	=	0.0007
				管断面積	0.125 ² × π / 4	=	0.012

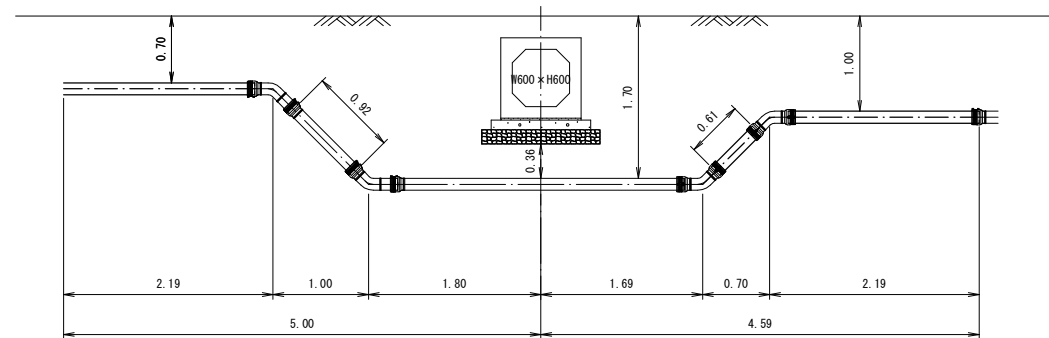
平面図



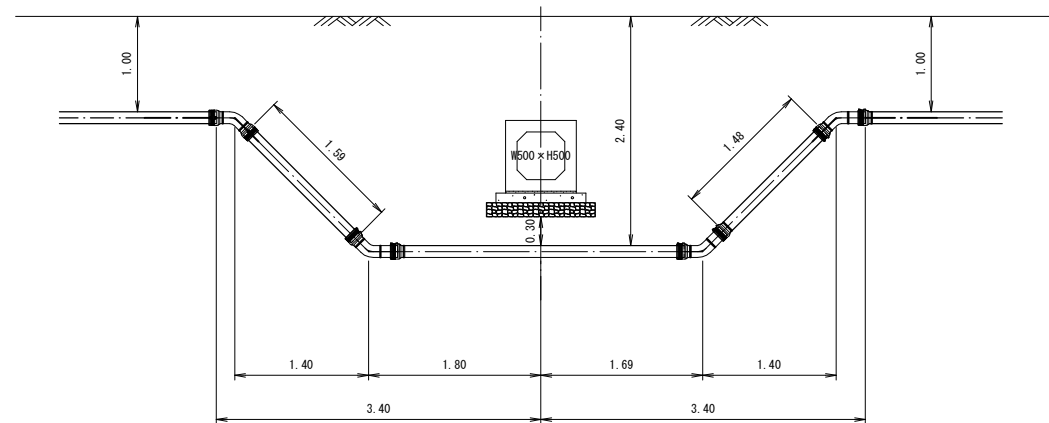
No	切管組合せ	1	2	3	4	残管長
1		4.63				0.37
2		3.00	2.00			0.00
3		3.00	2.00			0.00
4		1.48	2.60	0.61		0.31
5		0.92	1.59	1.03		1.46
計						2.14

下越配管図

① 下越配管詳細図 S=Free



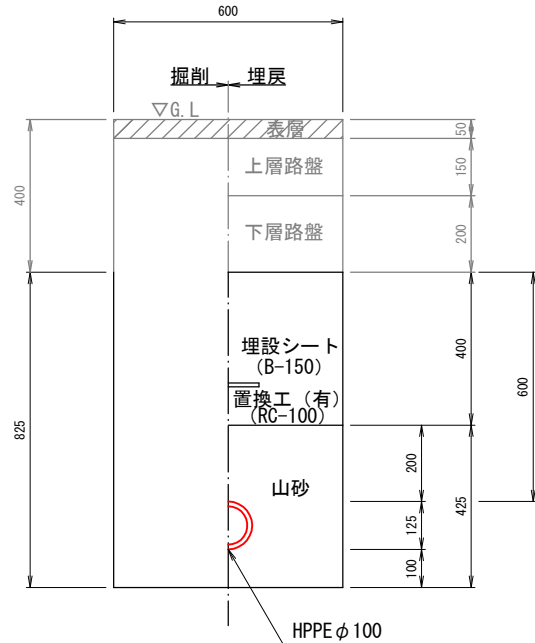
② 下越配管詳細図 S=Free



発注者	矢板市役所				
事業名	配水管布設工事 第7号				
工事箇所	矢板市沢地内				
図名	下越配管図				
縮尺	図示	設計年月日 令和7年8月	図番	3	4
検印	照査	設計	製図		

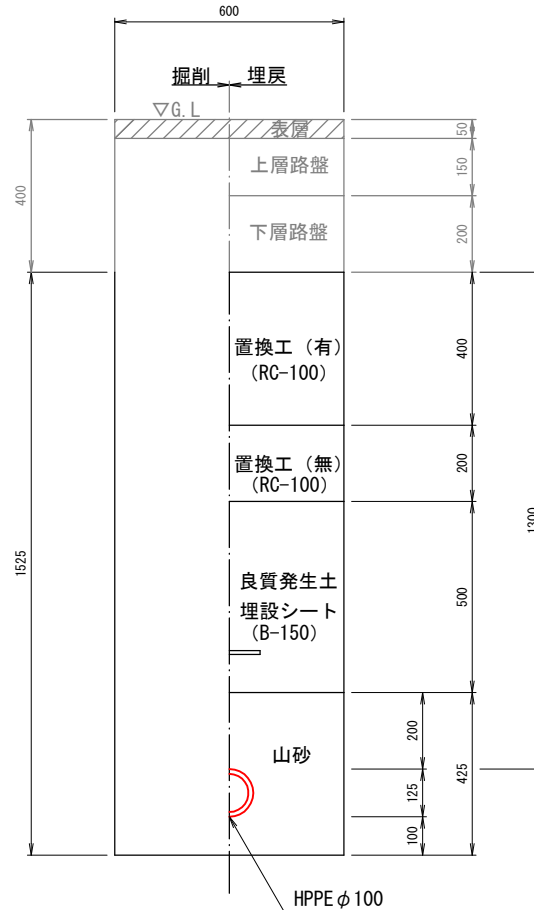
土工図

DP=0.60m（置換仕上面から）



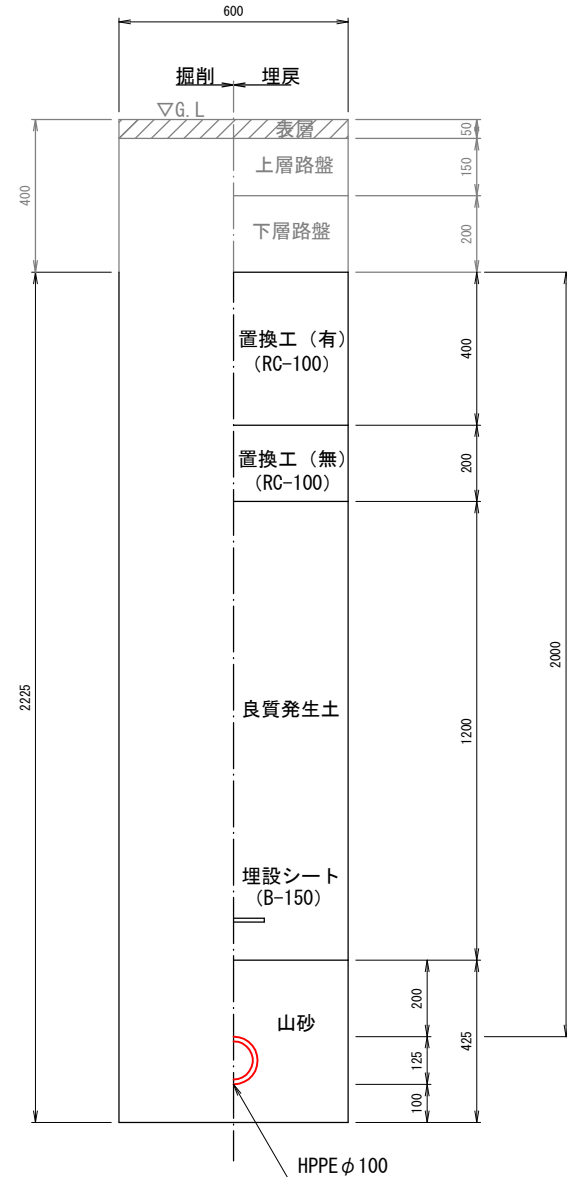
HPPE φ100
県道歩道AS

DP=1.30m（置換仕上面から）



HPPE φ100
県道歩道AS

DP=2.00m（置換仕上面から）



発注者	矢板市役所						
事業名	配水管布設工事 第7号						
工事箇所	矢板市沢地内						
図名	土工図						
縮尺	S=Free	設計年月日 令和7年8月	図番 4	4/4			
検印	照査	設計	製図				